

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471300214		
法人名	社会福祉法人 若葉		
事業所名	高齢者グループホーム「潮の香」		
所在地	尾道市因島中庄町木屋新開4804番地		
自己評価作成日	平成29年1月16日	評価結果市町村受理日	平成29年4月4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと		
所在地	広島県福山市平成台31-34		
訪問調査日	平成29年2月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様に、ご家族はもちろん、地域の人々とも交流をすることで情緒豊かな生活を送って頂けるように努めています。地域に出掛け、地域行事に参加して顔なじみの関係を形成、法人主催や事業所の行事等にご家族を招いて、利用者様との交流の機会を作らせていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「地域社会で普通に生活できるように」という理念のもとに、地域の防災訓練に職員が利用者と共に参加し、祭りでは職員が出店や神輿担ぎの役割を担う等、地域の一員として認められている。理念を実践するために、職員は利用者に対する気づきや家族の意見を連絡帳に記入し、全職員で共有しモニタリングやアセスメントを重ね、ケア会議で話し合い、介護計画を作成している。運営推進会議では利用者、家族、地域住民も参加し、DVDを使用してわかりやすく事業所報告がなされ、活発な意見交換がみられる。参加者から地域の情報を得、包括支援センターからは感染等の情報を得たりして行事計画に活かしている。利用者は配膳や食器洗いなどの役割を担い、生きがいを持って過ごしている。また、図書館やミニコンサート、物産展などへ出かけ、生活を楽しくしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	特定非営利活動法人 あしすと			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所玄関に掲示し、事あるごとに、皆で確認し、実践につなげている。	理念を達成するための5項目を、毎朝唱和し、意識して実施している。「その人らしさを大切に」する為に「職員の物差しで物事を計らない」とことだと職員間で話し合い、実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の防災訓練、道普、ごみ集積場掃除ほか、各種地域行事に参加している。	地域の防災訓練、道路掃除、ごみ集積場掃除など職員が利用者と共に参加し、地域の役割を担っている。特に祭りでは、職員が出店や神輿担ぎに協力し、利用者は地域の人とふれあい、楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々で行ったはばたき夏祭りで、利用者様が出店し、交流している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の様子をとともに過ごして確認していただき、行事のスライドを通して報告している。委員さん方々からは、地域の情報を頂き、行事計画等の参考にしている。	利用者・家族、包括支援センター、民生委員、地域の代表者などが参加している。DVDを使用してわかりやすく事業所報告を行い、活発な意見交換がみられる。家族からは生の声が聴け、包括支援センターからは、感染情報や行事のアドバイスもあり、行事計画等に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	利用者様の更新時、区分変更時には、申請書を因島出張所に持参したり報告をしている。必要時には尾道市役所を訪問している。	運営推進会議を通して、包括支援センターとの連携を密に行っている。市担当者へは、利用者の更新・区分変更時に申請書の提出や報告を行い、連携をはかっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会に参加し全職員話し合い皆が、理解して、身体拘束をしないケアを心がけている。	研修会に参加し、全職員で話し合い、皆が理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。利用者の安全確保のため、職員で話し合い、ベッド柵やセンサーマット、玄関のセンサーなど家族の了解のもとで使用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修で学び、虐待防止につながるあらゆることを見逃さないようにと、日々職員同士で心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人研修で学び、伝達研修を行い、職員全員が認識、活用できるように心がけている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、契約書、重要事項説明書等で説明し、不安や、質問にお答えしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望等がある場合、上司に繋ぎ柔軟な対応を心掛けている。	運営推進会議に利用者・家族が参加をし、意見や要望を出す機会がある。また、年2回の家族会ではDVDを見て、利用者の日頃の様子を知ることができ、会話が弾む。出された要望に対しては柔軟に対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定期的に、運営会議、ケア会議を開いている。センター長、管理者は会議に参加して、職員の意見を聞き反映している。	毎月定期的に、運営会議、ケア会議を開催し、夜勤者以外の職員全員が参加している。制服に替えて上履きを揃える等、活発な意見が出されている。入浴支援について、シャワーチェアの購入等職員の意見を取り入れ、ケアに活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	センター長、次長が来訪して、実態把握し、職員皆が向上心を持ち、楽しく働けるような職場環境条件の整備を心掛けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内は全員回覧し、参加を勧め、希望者は参加後、伝達研修を行う。法人研修は、勤務時間を調整して、一層の参加の勧めをおこなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の福祉事業者の集まりシーポートに加入し、職員との交流、研修会企画等に参加して、運営に活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時間的、空間的に利用者様に寄り添って笑顔で、じっくりと向き合うように心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のお話を、じっくりと伺い求められていることに柔軟に対応し、信頼して頂けるように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にはサービス担当者会議を設け、本人、ご家族とも、しっかりと話し、引継ぎを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いの立場を見極め、相手を大切にしながら、ともにテーブルを囲んで、語り合えるような関係を心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人とご家族の良い関係が継続できるように、ご家族との連絡を密にとりながら支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人とのふれあいを大切にして、ホームへまた来たいと思っていただけるような、おもてなしを心掛けている。	入居前から継続している宗教、短歌の会、理容院など外出の支援をしている。家族と共に孫の発表会や運動会に出かける利用者もある。友人、知人の来訪時には、お茶など出して職員も利用者と共におもてなしをし、関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、パイプ役を務めながら、皆さんが、笑顔で生活できるような支援を心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	柔軟に対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の言葉や表情を見落とさないように、連絡帳等を利用し、職員間で情報の共有を図っている。	利用者の言葉や表情、気づいたことなどを、連絡帳に書留め、職員間で共有している。利用者の意向を汲み自分の部屋を掃除したい利用者に対して、安全で手軽に持ち運びできるコロコロ掃除機を貸し出すなど、利用者本位で検討し、対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントや前ケアマネジャー、サービス事業者からの情報提供をうけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活の中で、ご自分でできる事を探し、少しでも長く行って頂けるように職員間で意識統一を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族からのお話、担当職員の気づき等、ケア会議で、全員の情報収集、意見交換を行って、介護計画を作成している。	日々のケア時に利用者について気付いたことは、即時に職員間で話し合っている。家族の訪問時に意見や要望を聴き、連絡帳を活用し、モニタリングとアセスメントを繰り返し、ケア会議でアイデアを出し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、ケアの記録は、全職員で行い、連絡帳、引継ぎ等で、連携を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日中、他事業所と連携、応援を受けて、柔軟な支援をおこなっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人一人の生活の中で、地域の理容院へ行ったり、ホーム以外の地域の人との会話を楽しむことができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様の主治医、ご家族と連絡を取りながらの対応を心掛けている。往診をしてもらう方もいます。	利用者はかかりつけ医に受診している。可能であれば、受診は家族で行うが、状態変化時は職員も同行して状態を伝え、情報共有をしている。2週間に一度協力医の往診があり、職員は事前に利用者の状況をまとめておき指示を得るなど、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康チェックや気づきは、看護師やケアマネージャに相談し指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は地域連携室や主治医と連携をとり、定期的な訪問を心掛け、担当者とも直接話し、関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、当ホームの方針を説明させていただいている。重度化した場合は主治医に相談し、今後の方針をご家族を含めて話し合い利用者様、ご家族に寄り添った支援を心掛けている。	入居時に、事業所の方針を説明し、同意を得ている。重度化した場合には、医師・家族・職員で話し合い、方針を共有し、文章を交わしている。家族の要望があれば居室での看取りも可能で、利用者・家族に寄り添った支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は、事前にマニュアルを作り、会議で確認し合っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は、定期的に行っている。(2回/年)夜間時の対応も職員間で、意識統一している。地域の防災訓練にも参加し災害時に応援体制がとれるよう話し合っている。	9月に昼間、3月に夜間想定で避難訓練を行っている。地震による津波等の災害時には事業所の建物が地域の避難場所になっているので、地域の防災訓練には利用者は職員と一緒に参加している。非常用のご飯・缶詰・水などの備蓄もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	同じ目の高さ、言葉使いに注意して、利用者様ときちんと向き合っ、声掛けをするように心がけている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について、研修を受講して、職員間で共有している。職員で話し合い、声を掛け合っ、同じ目の高さで利用者に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一度にたくさんの選択肢を提示し、利用者様が、混乱しないように、配慮しながら「～しませんか？」というような声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそっで支援している	一人一人に合った個別対応が出来るように、柔軟な対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	TPOに配慮し、衛生的で個人の好みをかなえる身だしなみができるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の手伝い、配膳、下膳、食器洗い等利用者様が出来る事を、一緒におこなっている。	利用者からメニューのリクエストがあり、気候のよい時には食材を買いに行くこともある。配膳、下膳、食器洗い等利用者が出来る事を、一緒に行っている。季節感を取り入れた食事を提供し、テラスで花見、誕生会には利用者・家族と職員と一緒に喫茶店で食事、利用者全員で外食をするなど、食事を楽しむことを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に水分摂取をしていただき、個人の状態を見ながら、主治医と相談しながら行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けを行い必要な方には、支援している。入れ歯は夜間外すように声掛けをしていますが、本人の様子を見ながら、柔軟に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	失敗して、嫌な思いをされないように、それぞれの様子を見ながら、声掛け、支援等を行っている。	便通調整には、ヨーグルト、腹部マッサージ、廊下歩行運動など工夫している。排泄誘導するときには水分や食事の摂取量・排泄の記録表を基に、プライバシーを損ねないように、小さい声で声掛けをしている。トイレの補助具は利用者に合わせて設置し、移動は個々の状況に応じて自立の支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食生活に気を付け、排便チェックをして。ご家族、主治医と相談しながら。服薬調整している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様の状況に応じて、時間、曜日にこだわらない入浴をしていただいている。	2～3日に1回は入浴するようにしている。入浴剤を使い、おしゃべりしながら、ゆったりと入浴している。利用者の希望により、同性職員が対応する場合もある。浴槽に入れない利用者は、併設のデイケアの特浴槽で入浴する場合もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠や休息を妨げないよう、ホーム内の音や、他の利用者様の歌、テレビの音量に気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は、ホームで管理させていただいている。服薬開始時。変更時は特に注意して観察し、主治医ご家族との連携を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の得意なことを披露していただいたり、一人一人の希望をうかがって、柔軟に対応している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	即希望に添える日も、そうできない日もありますが、計画を立てて支援しています。	散髪や買い物など利用者の希望で出かけている。図書館でのミニコンサートや港で開催される物産展など、利用者がチラシを見て希望して出かけることもある。外出が難しい人も、テラスにおいて日光浴、歩行運動などを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の状況、ご家族の考え等で、異なりますが、本人の想いを叶えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の要望があれば、電話をかけてさしあげます。(迷惑になるようなら、対応を相談しています)手紙が届けば、お渡しし、読んで差し上げる事もあります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、みんなで楽しむ団らんの場として活用しています。壁の飾りや生花などで、季節感が味わえるよう配慮しています。	リビングにはお雛様や生け花を飾り、窓から見える桜の木には夜間、ぼんぼりを飾るなど、季節感を味わえる。テラスは広く、長閑な景色が広がり、イスやベンチに座って集い語ることができる。また、玄関にセンサーを設置しているが音が優しく、刺激にならないように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下端の小空間、リビングの大空間、テラスと、それぞれにイス、ベンチ等を配し、自由に集い、語る場があります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様は、ご家族との写真や使い慣れたものを、そのまま利用しながら、居心地の良い居室づくりを行っている。	障子越しに柔らかな日差しが感じられる居室である。信仰している宗教による仏壇、椅子用のこたつがあり、ベッドでの生活がしやすいように配置している。又、使い慣れた座卓、床にマットを敷いた布団、押し入れには衣服を出し入れしやすく整理し、それぞれの利用者が気持ちよく暮らせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の気持ちに留意し安全で、快適に過ごせるように、リビング内の椅子、テーブルの位置を工夫している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	・日常的な外出支援 個別対応が増えて、外出支援が難しくなってきた	・小集団での支援を行う ・ご家族のご協力を得て外出していく	・週一回 個人、小集団での外出を行う ・誕生日にご家族との時間を過ごして頂く	12ヶ月
2	48	・役割、楽しみごとの支援 ADLが低下してきて、役割や楽しみごとが限られてきた	・出来ることを探しながら得意なことを披露していく	・一日一回 皆さんの前で声を出す機会 (披露の場)を作る	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(3))

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

特定非営利活動法人 あしすと

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他()